



@TOKAI_YAMAGATA_KOHO



ホームページ

第5号 発行日：2025年6月12日 HP版

前期中間試験が始まります

6月17日(火)～19日(木)

前期中間試験が6月17日(火)から三日間の日程で実施されます。1年生にとっては高校生初めての試験、3年生にとっては進路に直結する大事な試験となります。試験を翌週に控え、早朝、放課後問わず、メディアセンターや、多目的教室で学習する生徒が増えてきました。「自分の進むべき道は、自分で切り拓く！」3年生の教室前廊下に掲示されている叱咤激励の言葉とおり、真剣に学習に励んでいました。



おめでとう！

空手道女子個人組手 佐藤莉奈さんインターハイ出場

5月30日(金)～6月1日(日)を主会期に開催された山形県高校総体において、空手道女子個人組手に出場した佐藤莉奈さん(山形一)が**二年連続インターハイ出場**を決めました。おめでとうございます。

佐藤莉奈さんに今大会を振り返り、インターハイに向けてお話を聞きました。

質問：県総体2位という結果について、素直なお気持ちをお聞かせください。

回答：**2年連続でインターハイの切符をつかんだことは素直にうれしいです。しかし、県優勝を目指していたので、2位という結果には悔しさも残っています。団体戦でもインターハイを目指していたので、勝ちきれなかったことは心残りです。**

質問：インターハイ出場を決めた要因は何だったと思いますか？

回答：**昨年出場してからずっと「高校生活最後の学年でもう一度インターハイに出場する」という明確な目標をもって練習を積んできたことが大きいと思います。練習では技の精度はもちろんですが、「気持ちで負けない」という、精神的な面も大事にして稽古をしてきたことが要因だったと思います。**

質問：チームメイトとの関係について教えてください。

回答：**チームメイトは本当に心強い存在です。学年や男女関係なく仲の良いチームではありますが、空手は個人競技ということもあって、試合ではよきライバルとして高めあってきました。どんな時もついてきてくれて、一緒に戦ってくれるチームのみんなには感謝しかありません。**



チームメイトとともに記念撮影 右が佐藤さん

質問：2年連続のインターハイに向けて抱負をお願いします。

回答：**昨年はとても緊張して、自分の動きを出せずに負けてしまいました。今年はその経験を活かして、まず全国という舞台を楽しみたいと思います。しっかりと自分らしい空手を全国の舞台で出していきたいという気持ちです。出場することに満足せず、勝ちを目指して貪欲にいきたいです！**

インターハイ空手道競技は、8月7日(木)～11日(月)岡山県倉敷市の水島緑地福田公園体育館において行われます。佐藤莉奈さんに熱い声援をお願いいたします。

東海大学学園オリンピック文化部門 夏季セミナーに3人参加

東海大学学園オリンピックとは、本学園の附属諸学校と東海大学の教職員が一体となって附属生の才能を伸ばしていくことを目的として、文化部門8部門（国語、数学、理科、英語、造形、音楽、知的財産、ディベート）とスポーツ大会を開催しています。

スポーツ大会は種目ごとに開催時期が異なりますが、文化部門は年度当初に一次審査を行い、通過した場合は夏季セミナーに参加します。一次審査を通過した全国の附属生が集まる夏季セミナーでは、困難な課題に対して協力して取り組むことで、互いに刺激し合い、友情を深めると共に切磋琢磨しながら成長していく姿がたくさん見られます。さらに東海大学の先生から専門的な指導を受けることができ、これまで気づけなかった自分の才能や興味関心など、新しい発見があります。

本校からは国語部門で信夫結衣さん（山形二）、数学部門で三橋花笑さん（山形六）、知的財産部門で村田結菜さん（米沢一）の3名が一次審査を通過し、夏季セミナーに参加します。信夫さんと三橋さんは、昨年度に引き続き夏季セミナーに参加します。3人に学園オリンピックに対する意気込みを聞いてみました。

◆ 信夫結衣さん 国語部門（小説） ◆

自分の文章力を向上させたいことと、今年こそは賞をとりたいと思い、今年も学オりに挑戦しました。昨年の夏季セミナーでは、文章の書き方について多くの手法があることや、書く上でのコツを知ることができました。それを踏まえて小説を書いてみたら、生き生きとした文章になり成長を感じることができました。



私は、人物の設定やストーリーの構成を考えることが楽しく、読者から「面白い」と感想をいただいたときはとても嬉しくなり、それが創作への意欲になっています。アニメやRPGのような構成を考えることが多いため、将来はマンガ家か、脚本家を目指したいと考えています。

◆ 三橋花笑さん 数学部門 ◆

私は中学の時は、数学が一番苦手な科目で抵抗がありました。しかし高校の授業で、「数学の楽しさ」「困難な問題に取り組み解決できたときの達成感」を感じることができるようになり、興味を持つようになりました。昨年のセミナーでは初めてのことで、ついていくことがやっとでしたので、今年こそは楽しみたいと思い挑戦しました。セミナーでは大学の先生から教えてもらえることや、全国の附属校生と関わることができ、とても刺激になり良い経験ができました。セミナー後は毎回違う生徒同士で話し合いがあったので、表現力や理解力、コミュニケーション能力が向上し、多角的な視点で深く数学について考えることができとても有意義でした。私は情報理工学の分野について学び、将来は人の役に立てる人間に成長したいと思っています。



◆ 村田結菜さん 知的財産部門 ◆

高校現代文明論の授業で知的財産について学習したことで、普段何気なく使っているものでも、少し工夫を加えるだけで全く違うものになり、これまでの不便が解消できると知って驚きました。もともとのづくりが好きだったので、より一層興味が湧きました。身の回りの不便や疑問にも工夫のヒントが隠れていて、少し違う視点で見ることによって、発想の種に気づくことができることを、アイディアを考えて発表する授業を通して経験できました。今までとは違って、他の人の視点からも物事を考えられるようになったと感じています。



自分の困っていたことをどう改善するか考え、ふと気になったことから生まれたアイディアが、まさか一次審査を通過するとは思わず、本当に嬉しかったです。夏季セミナーでは、他の人のアイディアや工夫に触れることで新たな発見があるのではと期待しています。自分の発想の幅を広げたり、実際に形にするためのヒントを得たり、将来に活かせる学びがある良い機会になると思うので、とても楽しみにしています。